

平成22年度 分野チェックリスト

分野名	産業経済・区民生活分野	分野番号	4
分野担当部	区民生活部	関連部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			19年度	20年度	21年度	22	年度末
1	地域の活動等に参加している高齢者の割合	%	14.2	13.8	11.2	25.0	
2	隣近所との人間関係が良好と感じている区民の割合	%	79.0	80.5	81.6	85.0	
3	みどりの産業事業所数	所	〈3,030〉	2,685	〈2,685〉	増加させる	
4	まちの魅力度	%	82.1	82.9	84.8	85.0	
5	区内個人事業者の課税所得平均値	千円	7,364	6,773	6,322	増加させる	

※指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 1 高齢者の地域活動等参加率
18年度、一旦増加したものの、その後は、減少傾向が続いています。また、区民全体の数値においては、町会・自治会活動に関する数値は、高齢者の数値と同様に減少傾向が続いていますが、社会貢献・社会参加活動では、前年度0.9ポイント増加しました。
- 2 隣近所との人間関係が良好と感じている区民の割合
約8割の高水準を維持しながら、20年度、21年度と増加しました。
今後も、町会・自治会への加入促進や民生委員、学校PTAの活動などとの連携を深め、「ふれあいと参加の地域社会」を目指し、努力していきます。
- 3 みどりの産業事業所数
杉並区新産業実態調査結果による数値です。指標数値は逡減傾向にあり、新たな分野の事業であることや景気の低迷が影響していると考えられます。
- 4 まちの魅力度
17年度までは18～29歳までを対象としていましたが、18年度より指標の対象を「区民全体」に変更しました。指標は毎年度、増加する傾向にあり、本年度は84.8%と、目標値である85%にほぼ達しました。
- 5 区内個人事業者の課税所得平均値
区内個人事業者の課税所得平均値(青色申告者の総所得金額等合計額)は、18年度以降、景気の減速・悪化の影響で、毎年度減少する傾向にあります。(17年度は特例的に1000億円を超える所得があった者がいたため、これを除く試算では7,070千円となります。)

チェックリストの状況(参考)		
番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	地域の活動等に参加している高齢者の割合	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難です。
	杉並区区民意向調査における60歳以上の回答者のうち「あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか」の問いに「町会・自治会活動」または「社会貢献・社会参加活動」と回答した人の割合	
2	隣近所との人間関係が良好と感じている区民の割合	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難です。
	杉並区区民意向調査における回答者のうち、自宅周辺の生活環境の評価で「隣近所との人間関係」について「良い」または「まあ良い」と回答した人の割合	
3	みどりの産業事業所数	特別区全体事業所数 557, 107所 【18年度 事業所・企業統計調査】
	NTTデータベースから抽出した情報通信、環境、福祉など「みどりの産業」にふさわしい分野の事業所数 (杉並区新産業実態報告書における新産業の事業所数 4年に1回)	
4	まちの魅力度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難です。
	杉並区区民意向調査における回答者のうち「あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか」の問いに「特に魅力を感じる地域はない」と回答した人及び無回答以外の人の割合	
5	区内個人事業者の課税所得平均値	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難です。 【関連参考データ】一人あたり課税所得平均(東京都市町村税の課税等の調査結果 参考資料:12表関係)他区(第4ブロック)との比較 杉並区 4,551千円 中野区 4,024千円 豊島区 4,205千円 板橋区 3,646千円 練馬区 4,149千円
	青色申告の総所得金額÷件数	
特記事項		